



計画打ち合わせミッション報告

2024年2月29日から3月8日まで、ミャンマーに計画打ち合わせミッションを派遣し、4年間訪問出来なかったバガンにおいて植林した木々の生長を把握することを主たる目的として、モニタリング調査を行いました。詳細はミッション報告をご参照下さい。

1. バガンの現状

バガンは、戦闘が頻発しているマグエ地域に隣接していることから、警戒が厳しくなっており、外国人観光客は極めて少なく、閑散としていた。このため、100軒あったホテルの内、営業しているのは15軒のみという。また、世界遺産に認定後に建設された50軒の新規ホテルは全て閉鎖しているそうである。空港もフライトがある時のみ開港され、無いときは閉鎖されている。

ガソリン代が2019年に1リットル540チャットであったものが、現在は3000チャットと、約6倍に値上がりしており、街中を走る車も激減している。ホテルやお店は必要な時のみジェネレーターで発電しているそうである。

植林のモニタリング調査は各村とも、村長や水管理委員などが案内をしてくれ、円滑に実施されました。

① タンシンチェ村

- ・小学校脇の森（友好の森：仮称）生育状況は良好で素晴らしい森と言える状況になっている。（2020年の調査から大きな変化はなく、タマール、インマー、ユーカリなどが育っている）。
- ・校庭の福永記念樹の生育状況はあまりよくないが、熊谷結婚記念樹は大きく育っている。
- ・学校に入る道路脇の藤本さんのユーカリは順調に生育している。
- ・旧小学校の広場の木々は、順調ではあるが、道路側の中央部は生育不良で、真ん中の道路の東側と池側の生育はやや不良である。（タマール）
- ・パゴダ脇のチーク16本（2009年）は順調に育っている。



小学校脇の森



パゴダ脇のチーク

② コンタンジー村

- ・2014年に植林し、2015年に補植した小学校の横と裏の植林（タマール、ジマー）は、順調に生育している（50%程度）。小学校と僧院の間の場所は土壌が粘土質で生育していない。
- ・小学校前の広場の北側は、集会所が建設されたため、多くの木々が排除されているが、目検討で16本（チーク、タマール）が大きく育成している。
- ・井戸の周辺も集会所建設のために多くの苗木が排除されているが、約30本（チーク、タマールは2本）が生育している。
- ・2019年に新たに植林した村の北側、僧院の裏手にあたる場所は、若干の樹が生育していたが、他は全滅状況であった。村長はゴミ焼きや、ヤギ等の動物による被害などで、うまく成長しなかったので再度、次の雨季に植林すると述べていた。土壌があまり適さないのではないかと思われる。



小学校横の植林



2019年に植林して生存した木

③ ピョウセイピン村

- ・植林の生育状況は、目視で、村の入り口手前の通りの右側（2017年植樹）（法政大弓削ゼミ他）は22本が生育（チークとタマール）、
- ・左側（2019年補植）と土手の斜面（2019年植樹）は貯水池の全面改修工事のため全滅。近年始められた遺跡保存庁による大規模土木工事の影響と思われる。
- ・小学校の横の福永記念の森（2016年植樹、2017年補植）は、村の宗教関連地区として、周囲を煉瓦の塀で囲われ、順調に生育していた（タマール）。
- ・これに関連して、2020年頃、道路の付け替えが大幅に行われた結果、貯水池と道路の間の植林地（東京経済大ゼミ生他）と道路の南側の植林地（2016年植樹）は、道路の新設、ヤギによる捕食や隣接する河川（雨期のみ流水がある）からの洪水の影響により全滅状況にある。
- ・総じて、ピョウセイピン村は毎回、村長が交代するなどリーダーシップに問題があって、植樹後の水やりが定期的に行われなかった節があった。このため、この村では、補植を含む3回の植樹が行われたものの、全体にダメージが大きかった。



福永記念の森



溜池の土手の植林跡

④チョウカン村

- ・溜池横の植林地（大島家族の森：仮称）は、生育状況は50%位で成育率は良いと言える。川に近くなるほど成育率が悪い傾向がある。
- ・小学校のチークは、順調に生育し、目視では69本を数えた。小学校が追加で植林したものがあるかもしれない。
- ・小学校に一校舎が増築されていた。12年制に対応するためと思われる。
- ・前回、洪水で破壊されていた貯水池は余水吐を含め2021年に修復・再建されていた。
- ・電気と水は全戸に引かれたが、停電が多く困っている（1日4~6時間停電、連絡はない）とのこと。水はソーラーを利用して高架槽に上げているので困らない。60%位の家がソーラーも利用している。



大島家族の森



小学校の庭のチーク

⑤インダイン村

- ・山口記念の森は、入り口寄りの傾斜地は、生育が順調で林を形成していた（タマールを中心に約80%位か）。他方、奥に位置する丘状の部分は土壌部分が流失して、やや固結した土質のため生育は困難な状況にある。
- ・小学校横の道路に沿った植林（タマール）は順調に生育しているが、道路の反対側はユーカリ数本を除き、電柱の敷設のため伐採されてしまった。
- ・小学校横のココを主体とする植林は林状（目視で29本）に成育している。
- ・村の入り口の右側は、土壌が薄く固結した土質のため生育が阻害されたもの、および、シロアリの被害にあって、ある程度大きくなると枯死する傾向が見られた。目視で約30本が生育している。

- ・村の拡大が続いていて、村の入り口の門の外側に、ピーナツの精油装置を設置した家内工場ができて、若い夫婦がピーナツ油を製造していた。
- ・世界遺産に登録された結果、街での仕事が得られたものの、コロナと政情混乱のため、失業した若者達はマンダレー近くの町や外国に出稼ぎに出ている。



山口記念の森



小学校横の植林

⑥イーストパツソウ村

- ・小学校の門の前のタマール（2011年植林）は、シロアリにやられたため、伐採したとして、8本のみが残っている（タマール）。
- ・2010年植林の校庭のチークは大分シロアリに食われ、17本が生育中。校舎裏のユーカリは、タマールを含め16本が生長していた。
- ・チークを植栽した溜池の上流北側の堤防状の場所は、入り口部分に12本のチークが生育しているが、全体に洪水により土手の一帯が破壊されてほぼ全滅の状態にある。新たな川が出来て、周辺一帯は乾燥地の低木と雑草に覆われており、洪水の被害が非常に大きかったことが伺われる。
- ・溜池脇のタマール（2010年植林）は順調な生育であったが、薪炭のためか一部伐採され残っているのは10本程度である。
- ・パゴダ前のチークとタマール（2010年）（中島の森：仮称）は順調に成育しているが、シロアリにやられているものが増え、中央の2列は枯死し、二つに分かれている。残っているものもシロアリに食われつつある。
- ・藤村の森のユーカリ（2010年植林）300本は、シロアリにやられ、残存しているものは4本になって、もはや森とは言えない状況である。
- ・パゴダ前の広場は、収穫後の農作業の場所となっていて、木陰とするためか、村人による植樹が5本程度なされていた。池には若干の水が溜まっており、ここから天秤で水を運ぶ女性を見かけた。また、パゴダ横の堤防の裏に薪炭にする樹木の束が見られ、農村の生活水準が多少、自給自足的な低下傾向があるのではないかと感じた。
- ・村の入り口の右側にホテルが新築されていた。50件の新築ホテルのひとつと思われる。



ミンガラバーMJET News Letter

13-3-504, Minami Motomachi, Shinjuku-ku, Tokyo Japan 160-0012
Tel: 03-3353-6377, Fax: 03-3353-6377, E-mail: info@mjet-tokyo.com



土手の上の生存したチーク 生存している藤村の森

⑦ウエストパツウ村

- ・チークを中心に約20本が生育しており、旧集会場の周囲のタマルは順調に生育している。
- ・この村での植樹はあまり多くなかったが、村人の自宅の庭に植樹したものが、それらの殆どが順調に生育しているように見えた。



新集会所横の植林



旧集会所横の植林

3. ゴミ収集処理マネジメントの現状

- ・タンシンチェ村では3カ所のゴミ集積所を指定し、焼却は村の入り口の集積所のみで行っている。溜池の登り口付近にあった集積所は、以前よりゴミ捨てが少なく整備されていた。
- ・コンタンジー村は、ゴミゼロ運動により、集積所を整理したとの説明があったが、その後、あまりうまくいっていないようで、小学校裏のゴミ捨て場も復活していた。ゴミ捨て場は2カ所あり、2週間ごとに焼却している
- ・チョウカン村では、2カ所のゴミ捨て場があり、コミティー（任期3年）があつて、管理している。貯水池の先の谷状の地形の所をゴミ捨て場・焼却場所としている。
- ・インダイン村では、焼却炉の煉瓦が、モグラのせいで壊れたとしている。焼却した後の残滓（燃えカス）が溜まっているのに、その上にゴミを乗せて焼却するので、燃えカスがたくさん集積していた。



タンシンチェ村の焼却場



インダイン村の焼却炉

秋の日緬交流会

海鮮浜焼き&東京ドイツ村ウインターイリュミネーション他の日帰りバスツアー

晩秋の11月26日(日)、日本とミャンマーの青年と筆者、計14名が参加して、『房総W紅葉狩り&東京ドイツ村ウインターイリュミネーション、「海鮮浜焼き」と「赤海老のお刺身」食べ放題&南房総みかん狩り』という盛りだくさんの日緬青年交流会を楽しみました。

海鮮浜焼きと赤海老の食べ放題

お昼前に浜焼き市場に到着。そこで用意された新鮮な海鮮（ハマグリ、カキ、ホタテ、イカ、サザエ、魚等）を網に乗せて焼いて食べ放題。この他に、マグロや赤海老の海鮮丼も食べ放題。最後に果物とケーキ類も食べ放題。皆、満腹、満腹でした。



海鮮浜焼きの昼食



みかん狩り

みかん狩り

食後に近くの農家の畑で「みかん狩り」をしました。枝もたわわになっているみかんをちぎっては食べ、ちぎっては食べ。残念ながら、ランチで満腹のため、せいぜい5~6個で腹いっぱいになりました。



小松寺で紅葉狩り



ドイツ村の夜景

東京ドイツ村のイリュミネーション

東京ドイツ村には、午後5時ごろに到着。辺りはすでに真っ暗。ドイツ村のイリュミネーションが眩いばかりに輝いていました。ここで、参加者は個別グループに分かれて園内をそぞろ歩きながら、ドイツ風のお城や建物、童話に出てくる動物や子供など、多彩な色が組み合わせられたイリュミネーションを大いに楽しみました。参加者は、全員、この盛りだくさんなバスの日帰りツアーを喜んでいました。

(藤村記)